

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

心臓血管外科術後患者を対象として、
特定看護師が実践した SAT・SBT の安全性および
実践に至らなかった症例の要因についての検討

1. 対象となる患者さん

2025 年 6 月～2025 年 7 月の間に当院胸部・心臓血管外科予定手術後に集中治療部で人工呼吸器治療を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 集中治療部 看護師 南田裕加

3. 研究の目的と意義

手術中・手術後に人工呼吸器管理を要することが多くありますが、人工呼吸器管理が長期化することは、肺炎などあらゆる合併症を来したり、日常生活動作や生活の質の低下、生命予後にも影響を及ぼすものであると考えられています。そのため、人工呼吸器離脱に向けて早期から計画していくことが重要であると言われています。当院集中治療部(以下当院 ICU)では、「特定行為に係る看護師の研修制度」を修了し、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能を身につけた特定行為研修修了生(以下特定看護師)が所属しています。特定看護師は医師の指示のもと、手順書に基づいて医療の安全を確保しながら実践を日々行っています。患者さんを継続的に評価し、変化を捉えタイムリーな介入が実践可能な特定看護師が人工呼吸器離脱に向けた取り組みを行うことは、患者さんへのメリットや意義が大きいと考えられます。そこで、当院 ICU では 2025 年 6 月からは、従来以上に、心臓血管外科医師との連携を図り、人工呼吸器離脱に向けて特定看護師が積極的に実践(SAT:自覚覚醒トライアル・SBT:自発呼吸トライアルの実施)を行う取り組みを開始

しました。当研究は、取り組みが安全であったかどうか評価することと、取り組みに至らなかった症例の要因についても検討することを目的とします。この研究の成果は、人工呼吸器離脱に向けた、より効果的な活動に繋がることが期待されます。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、特定看護師が SAT・SBT を実践できた症例の SAT・SBT 成功率や再挿管率の評価、特定看護師による SAT・SBT の実践に至らなかった症例の要因について検討します。

5. 使用する情報

診療情報：年齢・性別・喫煙歴・既往歴・診断名・術式・BMI・呼吸機能検査結果

術中情報：手術時間・麻酔時間・人工心肺の有無・人工心肺時間・心停止時間・

術中出血量・術中水分バランス・挿管実施時間

術後情報：術後出血量・術後水分バランス・ICU 入室後投与薬剤・ICU 入室後投与輸血・重症度スコア・人工呼吸器離脱に関する 3 学会合同プロトコルに準ずる項目・SAT開始時間・SBT開始時間・抜管実施時間・抜管後酸素投与状況・血液ガスデータ

転帰データ：再挿管の有無・ICU在室日数・在院日数

体制：特定看護師の勤務体制・医師の勤務体制

その他：呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連：人工呼吸器からの離脱特定行為実施件数・有害事象発生件数・特定看護師による SAT/SBT 実践に至らなかった理由

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学附属病院 集中治療部 看護師 南田裕加

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2026 年 3 月 31 日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 集中治療部 看護師 南田裕加

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：yuukam610@naramed-u.ac.jp